ちいきの話題

新緑の太平湖、小又峡を満喫

太平湖湖水開き



新緑の山々に囲まれた太平湖を小又峡に 向けて出航

外から訪れた観光客は新緑に囲まれたに行われ、遊覧船の運航が始まり、県内 里観光開発㈱代表取締役は 湖の景色を満喫しました。 開会セレモニー 奥森吉・太平湖の湖水開きが6月1 で、北林昭男マタギの

の景色を楽しみながら小又峡へ向けて木々で囲まれた湖と残雪が残る森吉山 て出発する「森吉丸」へ乗り込み、新緑の する高清水桟橋から、今年の第1便とし 絶好の行楽日和。観光客は遊覧船が発着 て、太平湖と小又峡の素晴らしさを実感 してもらいたい」などとあいさつ。 この日は、さわやかな晴天に恵まれ、 トする。たくさんの皆さんが訪れ ズンの森吉山一帯の観光が 長い冬が終

ふるさとの味や話題で盛り上がる



ふるさと談義に花が咲いた東京圏あに会

第24回東京圏あに会

親睦と揺るぎない郷土愛をもって交流見え始めた。こういう時こそ会員相互の続にふれ 昨今若干ではあるが明るさが 参加者など、約150人が集い 都)で開催され、会員や阿仁地区からの親会が5月30日、ラ・ベルオーラム(東京 た地元出身選手の活躍や内陸線の存 山本会長は冬季オリンピックで活躍 東京圏あに会(山本巌会長)の総会・懇 む話で盛り上がりました。 、ふるさ

さと談義に花を咲かせてい しながら、互いの再会を喜び合い 山菜、漬け物などなつかしい味を堪能 懇親会では、地元からの馬肉の煮つけ

を込めながら植樹しました。

予算や新役員等の提案を承認しました。

総会では、収支決算の報告や今年度の

を深めていくことが大切」とあいさつ。

クマゲラの森を再生しよう



大きな木に育ってねと願いを込めながら 植樹したグリーンウェイブ2010

グリーンウェイブ2010 in 奥森吉

チ丈のブナの苗を、大きく育つよう願い掘り、5年ほどかけて育樹した約20セン 周辺で、市民うりの、ベニーが5月29日、県青少年野外活動センターが5月29日、県青少年野外活動センター ほしい」などとあいさつ。 豊かになるよう願いを込めて植樹して私たちが植えた樹木で、森吉山の森林が 課主幹は 県では、クマゲラの森を再生 の共催。開会式で山田武人・県森林整備 PO法人冒険の鍵クー て森林保全、再生への理解を深めました。 ブナの苗を植樹やポット苗づくりをし 周辺で、市民ら約20人が参加して行われ しようと様々な取り組みを行っている。 この日の森林再生活動は、秋田県とN 参加者らは、スコップで苗が入る穴を

ン(村田君子代表)

健康は笑いから



入院患者や市民ら約150人が漫談を楽 しんだ「笑学校イン北秋田市民病院」

豪風関と楽しく相撲交流

笑学校イン北秋田市民病院

れ、入院患者や市民ら約150人が様々日、同病院のエントランスホールで開か笑学校イン北秋田市民病院が6月20 おもしろおか お笑い活動で、 日本笑い学会秋田県人会が主催。無料の 笑学校は、県内に笑いを広めようと: 会員が身近な話や体験を

ますので、今日はとにかく笑って帰っ いただきたい」と開校の言葉。 このあと、6 はじめに、司会が ・ので、今日はとにかく笑って帰って、と多くのお医者さんが実証してい しく披露します。 笑うことは健康に

の前に行われた。豪風関に挑戦」のコー

では、児童らが3人から8人がかり

めざしました。

めることを目的に開催されまし

学年ごとのト

ナメント戦の決勝戦

場は終始笑いに包まれてい やものまねを交えたゆかい 会 バラエティ ンソン」など授業形式で、漫談を披露。 いました。 な漫談に、 会 歌

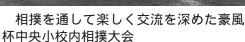
人の先生がそれぞれ、

豪風関杯中央小校内相撲大会

子どもたちや地域の方々との親睦を深 ンとして計画。数年前から中央小と交流 や保護者らが参加して開かれました。 央小学校(津谷義仁校長)の土俵で児童 田範和PT 大会は、同校の創立135周年を記念 豪風関杯校内相撲大会(大会会長 いる郷土力士の豪風関を招き、 A会員らが親子レクリエー A会長)が6月12日、鷹巣中

ショ

を通して楽しく交流を深めました。 減しながら押したり引いたり、逃げ回っ で豪風関に挑戦しました。豪風関は、加 モアを交えて、児童らと相撲



内陸線に乗ってマタギの里を散策

マタギウオーク

マタギ駅周辺で行われ、市民ら約20 マタギウオークは、北秋田市民ウオー ウオーキングで市民らの健康増進を

場を楽しみながらゴールの打当温泉をに伝わる七不思議石を見学したり、熊牧からスタート。途中にある阿仁中村地区 6#ロコー 自身の体力に合わせて3キロコー 防にもつながるよう開催しています。 健康づくりに取り組み生活習慣病の予 高めるとともに、ウオーキングを通して め運動やスポー ク」の一環。市民の健康の維持・増進のた 図る、マタギウオーク」が6月3日、阿仁 人が参加して心地よい汗を流しました。 参加者らは、内陸線を利用して集合。 スに分かれて、阿仁マタギ駅パに合わせて3キロコースと ツ活動に対する機運を

新緑の阿仁マタギ路を軽快に歩いたマタ ギウオーク